

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

| | | |
|-----------|--|-----------------|
| 施設の名称 | むつ市宮後、名子、永下、金谷沢牧野及び宮後ふれあい牧場 | |
| 指定管理者 | 団体名 | 田名部畜産農業協同組合 |
| | 代表者 | 代表理事組合長 千葉 亮 |
| | 所在地 | むつ市大字田名部字下川18番地 |
| 指定期間 | 平成28年 4月 1日 ~ 平成31年 3月 31日 (3年間) | |
| 指定管理業務の概要 | 市内農家の所有する家畜の預託。種雄牛・種雌牛の飼養管理。 宮後ふれあい農園の管理。 | |

2. 収支の状況

単位：千円

| 区 分 | 計 画 額 ① | 実 績 額 ② | 増 減 (②-①) |
|------------------|--|---------|-----------|
| 収入合計 (A) | 37,952 | 38,118 | 166 |
| うち利用料金額 | 12,707 | 12,813 | 106 |
| うち指定管理料 | 25,145 | 25,145 | 0 |
| 支出合計 (B) | 37,952 | 37,595 | △357 |
| うち人件費 | 18,754 | 14,582 | △4,172 |
| 収支差 (A-B) | 0 | 523 | 523 |
| 市への納入金 | 0 | 0 | 0 |
| 計画額と比較した実績額の増減理由 | <p>放牧頭数の増加は、利用農家が高齢となり、労働力の軽減を図るようになったと思慮される。また、エムケイヴィンヤードの短角牛の畜舎利用により増頭増益となった。</p> <p>人件費の実績減は、看視人2名が年度初めから退職したため、看視人経験者を牧草刈り入れや、予防注射等の繁忙期のみ雇用した。</p> | | |

3. 施設利用の状況

単位：頭

| 利用頭数 | 区 分 | 計 画 ① | 実 績 ② | 増 減 (②-①) |
|--|--------|-------|--------|-----------|
| | 放牧述べ頭数 | | 49,025 | 50,028 |
| <p>利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)</p> <p>(2) 利用者の声 (評価、苦情など) とその対応</p> <p>(利用者からの苦情)</p> <p>ア. 高橋代人氏から畜舎に預託している出産間近の牛 (自己所有牛) が立てない状況にあるのは、看視人が看視を怠ったからではないのか。</p> <p>イ. 森川勇雄氏からは、4頭事故による死亡に対しての不満。</p> <p>(対応)</p> <p>ア. 出産間近の受け入れは本来できないことを利用者に周知しているが、利用者が無理に置いていこうとするため、仕方なく受け入れした。無事に出産し、子牛は元気だったが、親牛は産後脱を起こした。</p> | | | | |

今後、畜舎の使用に関しては、預託条件遵守の徹底を図るため説明会を実施し、利用者に対し、承諾誓約書を記入してもらい、安全管理を強化したい。

イ. 群での飼育で起きた事故であり、その原因は牛舎の過密にあるものと認識している。牛舎が過密になっていた理由としては、畜舎利用者が、看視人へ事前に伝えた入舎予定頭数の倍の頭数を持ってきて置いて行ったため、受け入れざるを得ない状況となったためである。今後は、入舎受け入れ限度数を超えない範囲で受け入れることを、農家へ周知徹底し理解してもらう。

常に農家と親密な関係を保ち、連絡を密にして事故防止に努める。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

| 事業名 | 利用者数 | 収入 | 支出 |
|-----|------|----|----|
| なし。 | | | |
| | | | |
| | | | |

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

| 評価項目 | 自己評価 | 市の評価 |
|---------------------------------|------|------|
| (1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況 | | |
| ①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。 | B | B |
| ②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。 | B | B |
| ③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。 | B | B |
| ④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。 | B | B |
| (2) 利用促進に関する取組み状況 | | |
| ①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。 | B | B |
| ②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。 | B | B |
| ③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。 | - | - |
| (3) 効率性の向上に関する取組み状況 | | |
| ①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。 | B | B |
| ②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。 | B | B |
| ③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。 | B | A |
| (4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況 | | |
| ①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。 | B | B |
| ②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。 | B | B |
| ③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。 | B | B |
| ④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。 | B | B |
| (5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況 | | |
| ①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。 | B | B |
| ②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。 | B | B |
| ③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。 | B | B |
| ④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。 | B | B |

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

殆どについて、適正に行った。

自主事業については、家畜伝染病等を考慮して取り組みを検討したい。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

建物や草地の傷みが目立つ中、日々の修繕でよく対応してくれたものと思う。畜舎預託牛の事故が多いのは気になるが、指定管理者の管理方法を徹底していくことはもちろん、むつ市も施設の整備には可能な限り協力し、対応していきたい。また、預託者にも無理な預託をしないよう理解を求めてほしい。牧野作業員に草地管理の研修を受けさせたことは評価できる。今後も作業員の飼養管理能力の向上に努めてほしい。